

全ての学習の基盤 ③

問題発見・解決能力の育成

- 問題発見・解決能力とは、物事の問題を発見し、解決するために必要となる力です。
具体的には、次に挙げる一連の学びを実現する力です。
 - ◆ 物事の中から問題を見だし、解決の見通しをもつ。
 - ◆ 解決の方法を探し、より細かな計画を立てる。
 - ◆ 結果を予測しつつ、計画を実行する。
 - ◆ 振り返って、次の問題の発見・解決につなげていく。



- 「問題」の解決に当たり、必要になるのが「課題」です。「問題」と「課題」は混同されがちです。両者の違いを明らかにした上で使い分けられない限り、「問題」の解決には至りません。
 - ◆ 「問題」とは、目標とする理想の姿と現実とのギャップのこと。
 - ◆ 「課題」は、ギャップを埋めるために行うべきこと、または行うと決めたこと。
- 問題は解決すべきものであり、課題は達成すべきものです。よって、「課題解決」よりも「課題達成」の方が、適切な表現と言えます。

準備

ラグビー元日本代表ヘッドコーチ エディー・ジョーンズ

私はどんな事でも、成功は、準備がすべてだと思います。

勝つためには、準備をしなければなりません。スポーツはもとより、ビジネスでも競争相手があります。どんな事でも、成功とは、相手に勝つことにほかなりません。勝ちたいなら、相手を上回る準備をするしかないのです。

出典：「ハードワーク」（講談社）

※ ここでいう準備とは、やみくもなものでなく、現状を踏まえ、先を見通した「理にかなった準備」です。